



2022年11月10日

各 位

会 社 名 日本農薬株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 岩田 浩幸  
 (コード：4997、東証プライム)  
 問合せ先 管理本部総務・法務部長 吉岡 正樹  
 (TEL. 03-6361-1400)

## 2023年3月期第2四半期業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

2022年8月9日に公表しました2023年3月期第2四半期(累計)の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

## 記

1. 2023年3月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績値の差異について  
 (2022年4月1日～2022年9月30日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	46,400	4,300	4,200	3,100	39円53銭
実績 (B)	43,167	3,030	3,197	2,582	32円94銭
増減額 (B-A)	△3,232	△1,269	△1,002	△517	
増減率 (%)	△7.0	△29.5	△23.9	△16.7	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2022年3月期第 2四半期)	31,480	1,444	1,568	1,548	19円69銭

会計方針の変更に伴い遡及適用を行ったため、(ご参考)前期第2四半期実績(2022年3月期第2四半期)は、遡及適用後の数値を記載しています。

## 2. 差異の理由

海外農薬販売において、米国の一部地域での干ばつに伴う販売の伸び悩み、インドでのモンスーンの到来遅れに伴う出荷遅延やBtoB向けジェネリック農薬販売の競争激化などの影響により、売上高、利益ともに前年同期を大幅に上回るものの、前回発表予想を下回る結果となりました。

なお、2023年3月期通期見通しにつきましては、主要国での価格改訂の効果を見込んでいること、米国で殺菌剤フルトラニルのピーナッツ向け需要が引き続き好調に推移する見込みであること、また、前述のとおりインドのモンスーン到来は遅れたものの降雨量は十分であり今後の乾季作に向けた農薬販売が期待できることなどから、2022年8月9日に公表しました業績予想から変更はございません。

(注) 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後発生する様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。今後の業績動向を踏まえ、業績予想を見直す必要が生じた場合は速やかに開示する予定です。

以 上